

氏名	
----	--

点数	点/100点
----	--------

## 各論演習 43-1

問1)

財務諸表分析に関する次の文章を読んで、各設問に答えなさい。なお、比率については小数点以下を四捨五入したパーセントで答えること。

財務諸表を分析する場合、当該企業の収益性と安全性とが重要なポイントとなる。

収益性は、当該企業がどれだけ効率的に利益を生み出すことができるかを表すもので、総資産当期純利益や株主資本当期純利益などが代表的な指標である。総資産当期純利益率は、次のとおり分析できる。

$$\begin{aligned} \text{総資産当期純利益率} &= \frac{\text{当期純利益}}{(\text{期首総資産} + \text{期末総資産}) \div 2} \times 100 (\%) \\ &= \frac{\text{当期純利益}}{\text{総収益}} \times \frac{\text{総収益}}{(\text{期首総資産} + \text{期末総資産}) \div 2} \times 100 (\%) \end{aligned}$$

つまり、総資産当期純利益は、(①)と(②)という2つの比率から構成されている。

一方で、もう一つの指標である安全性は、当該企業の支払能力を見るもので、短期の観点からと長期の観点からの2つに分類できる。短期の観点からの指標には、流動比率と当座比率がある (A)

&lt;甲社の資料&gt;

	前期末	当期末
流動資産	80	100
流動資産のうち、当座資産	52	48
固定資産	400	420
流動負債	50	40
固定負債	320	340
純資産	110	140
総資産	480	520
負債及び純資産合計	480	520

	当期
売上高	20
当期純利益	5

  

	翌期予定
配当	2

【設問1】

文中の①と②に入る適当な用語（財務比率）を解答欄に記入し、甲社における当期の数値を総資産当期純利益率も加え、それぞれ算出なさい。

【設問2】

甲社の同業他社の売上高利益率は、直近年度で26%、甲社の前期の売上高利益率は23%であった。当期の甲社の売上高利益率は同業他社と比べ良いか悪いか、また、前期の甲社の売上高利益率と比べ改善したか悪化したか答えなさい。

【設問3】

下線部 (A) に関連して、流動比率に含まれるが、当座比率に含まれないものをひとつ挙げなさい。また、当座比率と比較した場合に流動比率にはどのような点で問題があるといえるか計算式の分子に含まれる項目に注目して答えなさい。

【設問4】

甲社の前期と当期について、短期の安全性である流動比率と当座比率、また、長期の安全性である総資産負債比率と固定比率をそれぞれ算出なさい。また、短期の安全性及び長期の安全性は前期に比べ改善されたか悪化したか答えなさい。

解1)

【設問1】

	用語（財務比率）	数値
	総資産当期純利益率	%
①		
②		回

【設問2】

該当する方に○で囲みなさい。

同業他社と比べ	良い	・	悪い
前期と比べ	改善した	・	悪化した

【設問3】

流動比率に含まれるが、当座比率に含まれないもの	
-------------------------	--

当座比率と比較した場合の流動比率に係る問題点

【設問4】

		前期 (%)	当期 (%)	改善したか悪化したか (該当する方に○で囲みなさい。)
短期の安全性	流動比率			短期の安全性は 改善した ・ 悪化した
	当座比率			
長期の安全性	総資産負債比率			長期の安全性は 改善した ・ 悪化した
	固定比率			